

富山高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	異文化コミュニケーション論	
科目基礎情報							
科目番号	0189		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	教員による配布教材						
担当教員	西原 雅博						
到達目標							
1. 異文化理解教育に関する概念を正しく理解して、口頭かつ文章で明瞭に説明することができる。 2. 異文化理解教育に関する概念を正しく使って、自分の体験を解釈して適切に意味づけることができる。 3. 自己の体験を意味づける過程を簡明な文章によって論理的、かつ、明瞭に説明することができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
概念の理解力	異文化理解教育に関する概念を正しく理解して、口頭かつ文章で明瞭に説明することができる。		異文化理解教育に関する概念を正しく理解して、口頭かつ文章でおおよそ説明することができる。		異文化理解教育に関する概念を正しく理解して、口頭かつ文章で説明することができない。		
体験の意義付け	異文化理解教育に関する概念を正しく使って、自分の体験を解釈して適切に意味づけることができる。		異文化理解教育に関する概念を使って、自分の体験を解釈して適切に意味づけることがおおよそできる。		異文化理解教育に関する概念を使って、自分の体験を解釈して適切に意味づけることができない。		
文章表現力	自己の体験を意味づける過程を簡明な文章によって論理的、かつ、明瞭に説明することができる。		自己の体験を意味づける過程を簡明な文章によって論理的、かつ、明瞭に説明することがおおよそできる。		自己の体験を意味づける過程を簡明な文章によって論理的、かつ、明瞭に説明することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	授業では、異文化理解やコミュニケーション、英語観、英語文化に関する用語や概念、理論を紹介して、その用語、概念、理論と自分の体験とを結び付け、意味づけるような思考を促します。そうすることで、自分と他者との偏見や差別のない良好な人間関係を構築できる人になることを期待します。						
授業の進め方・方法	グループディスカッション等、学生からのインプットと参加を促した授業を展開します。授業内容の切れ目を目安に全部で5回の稱レポート、及び、学期末の中レポートを書いてもらいます。評価はこれらに基づいて行います。						
注意点	本科目では、60点以上の評価で単位を認定します。評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができます。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を60点とします。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	イントロダクションー異文化理解教育の必要ー		私たちの周囲の「異文化」、異文化感受性発達モデル、「二つの親切」について考える。		
		2週	父性原理と母性原理		二つの原理の本質を理解して、自分の体験を意味づける。		
		3週	日米の子ども観、子育て観		日米の子ども観の差異に注目して、「厳しさ」と「自由」の多義性を考える。		
		4週	学びの伝統①ー模倣的様式ー		学びのイメージに関する二つの様式を理解し、自分の学びのスタイルを考察する。		
		5週	学びの伝統②ー変容的様式ー		学びのイメージに関する二つの様式を理解し、自分の学びのスタイルを考察する。		
		6週	西洋合理主義ー「風土論」ー		「風土論」を使って異文化の背景を考察する。		
		7週	コミュニケーションの中の異文化		日英のコミュニケーション・スタイルの差異について考える。		
		8週	コミュニケーションの仕組み①		「暗号解読理論」の限界を「道順の説明」を通して考える。		
	2ndQ	9週	コミュニケーションの仕組み②		「協調の原理」と「関連性理論」の考察を通して、コミュニケーション実践への示唆を考える。		
		10週	英語観①ー「シンデレラ」から「養子」へー		現代社会における英語の多面性を考える。		
		11週	英語観②ー「ゴジラ」：英語帝国主義論と「世界諸英語」という思想		英語文化の序列性という観点から、「英語支配」とそれに対抗する思想を考察する。		
		12週	「言語的距離」①		「言語的距離」とは何かを考察して、外国語学習、異文化学習の意義を考える。		
		13週	「言語的距離」②		日英語間での主語の機能、排句の翻訳、否定疑問文の機能を考察して、日英語の「言語的距離」の異文化学習における意義を考える。		
		14週	複言語主義・多言語主義		これまで学習してきた我々の外国語を振り返り、これからの生き方におけるそれらの積極的意義について考察する。		
		15週	期末試験		学期末レポートでこれまでの学習の成果をチェックする。		
		16週	成績確認とまとめ		成績確認と学んだことのフィードバック。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週

評価割合							
	試験	レポート・発表	相互評価	出席・態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	50	0	0	0	0	50
専門的能力	0	50	0	0	0	0	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0